

< 資料 1 >

協会の施策について

2019年11月19日
記者会見

3年間のスローガン

前進～未来へ

「社会に貢献する公認会計士」
の実践を通じて
社会からの信頼を築く

現状の確認

- 今こそが、将来に向けた取組に着手する時である

| | '96 - '04 | '04/7 - '07/7 | '07/7 - '10/7 | '10/7 - '13/7 | '13/7 - '16/7 | '16/7 - '19/7 |
|----------------|---|--|--|--|---|--|
| 金融・会計 ビッグバン | <ul style="list-style-type: none"> ✓金融機関破綻 ✓ASBJ設立 ✓会計・監査基準国際化 | | | | | |
| 藤沼会長 | | <ul style="list-style-type: none"> ✓カネボウ事件 ✓みずぐ解散 ✓西武鉄道事件 ✓J-SOX導入 | | | | |
| 増田会長 | | | <ul style="list-style-type: none"> ✓みずぐ解散 ✓世界金融危機 ✓就職問題 | | | |
| 山崎会長 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ✓オリンパス事件 ✓不正対応基準 ✓就職問題 | | |
| 森会長 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ✓東芝不正会計 ✓在り方懇の提言 | |
| 関根会長 | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ✓東芝不正会計 ✓充実懇の提言 |

公認会計士業界の重要課題

- 1 会計監査の在り方改革(国際的な動向も踏まえて)
- 2 会計基準及び監査の基準設定との関わり
- 3 企業情報開示の変革への適応
- 4 企業活動の変化及び技術革新への適応
- 5 公認会計士業務に対する社会からのニーズの充足
- 6 急速な会員数の増加と会員の多様化への適応

戦略目標と課題

| | 戦略目標 | 課題 |
|---|---------------------------|---|
| 1 | 公認会計士に対する信頼の確立 | <ul style="list-style-type: none"> ● 会計監査に対する社会からの信頼の確立 ● 公認会計士に対する社会からの理解の促進 ● 社会からの信頼を基軸とした会員の共感・一体感の醸成と協働の促進 |
| 2 | ステークホルダー・エンゲージメント | <ul style="list-style-type: none"> ● ステークホルダーからの信頼の確立 ● ステークホルダーへの影響力の強化 ● ステークホルダーとの協働の促進 ● ルール形成への参画と社会への貢献の場の拡大（4に密接に関連） |
| 3 | 人財の確保と育成 | <ul style="list-style-type: none"> ● これからの公認会計士に必要な資質の再定義 ● 時代の要請に適合した試験制度・実務補習・研修制度 ● 試験合格者数の継続的な確保 ● ダイバーシティ、インクルージョンの促進 |
| 4 | 業務開発と収益性 （社会からのニーズの充足） | <ul style="list-style-type: none"> ● 公的部門・非営利団体のガバナンス改革と生産性向上への貢献 ● 社会価値の創造への貢献と公認会計士に対する価値配分の増価 ● 地域の活性化への貢献 |
| 5 | 会務運営の生産性・透明性 | <ul style="list-style-type: none"> ● 総合戦略・企画・調整機能の強化 ● 事務局運営のインフラ・仕組みの整備 ● 職員の資質とモチベーションの向上 ● 共通の価値観の醸成 |

方針の全体像

ありたい姿

会員からも社会からも信頼され、
経済の健全な発展と幸福な社会の実現に最も貢献する
プロフェッショナル団体

戦略目標1

公認会計士に対する信頼の確立

戦略目標2

ステークホルダー・
エンゲージメント

戦略目標3

人財の確保と育成

戦略目標4

社会からのニーズの
充足

戦略目標5

会務運営の生産性・透明性

価値観（行動指針）の共有と実践

監査の現場力の強化

問題発見と解決のプロセス

